

ティーチング・ステートメント

所属 薬学部薬学科
名前 三浦 哲嗣
作成日 2022年3月10日

【責任】

臨床薬学部門臨床薬理学分野に所属し、循環器疾患と腎疾患に対する薬物治療の教育科目を担当している。来年度からは医療概論も併せて担当する予定である。学外での教育活動として、札幌医科大学医学研究科大学院生の循環器病研究の指導を非常勤教員として継続しているほか、多職種による医療連携に関する NPO（北海道医療連携ネットワーク協議会）に所属し、患者、医療職ならびに医療系学生を対象とした教育用資材の作成と教育啓蒙活動を行っている。

【理念】

教育理念として、薬学の知識と技能を生かし健全な批判精神をもって社会の重要な問題に携わりその進歩に貢献できる人材の育成を目指している。今後も社会の構造や状況は大きく変化を続けていくことが予想されるが、その変化は社会格差や差別などの問題も含めて必ずしも好ましい変化ばかりとは言えない。そうした変化のなかで卒業後に生きがいを持って社会貢献するためには、社会に対する関心と広い視野をもち健全な自己評価によって継続的に自己を教育することができる基盤を学生が在学中のうちに獲得することが重要と考えている。

【方針・方法】

上記の理念の実現のためには、1) 自身の理想像と社会との関連を考える視点、2) 基本的な技術としてバイアスを考慮した情報の収集、問題の重要性の整理、情報の分析と推論、3) 健全な批判や失敗をその後に生かす態度と工夫、を重要な点と捉えている。これらを薬学の教育を通して学生に修得させることを方針としている。

「学習と社会とのつながりを学ぶ」

- ・治療対象となる疾病がどのように社会的に重要であるのかを示す疫学データ・臨床データ、社会に大きな影響を与えた新規薬剤や新規の治療法の例を提示して解説し、学習のテーマが社会と密接に関わっていることを学生が理解できるよう工夫をしている。
- ・学習テーマと関連した歴史や人物像の紹介をすることによって、進歩と人間の努力との関係を例示している。

「情報収集・情報の分析と推論を学ぶ」

- ・治療法のエビデンスとなっている代表的な研究データを厳選して、その情報収集とバイアスの問題、結果の解釈方法を解説し、正確な情報を得るために必要な注意と科学的な推論を学生に理解させるよう努めている。
- ・症例において推論の根拠とするデータの選び方と推論の仕方を修得できるよう、薬学に関する症例問題の演習と解説、誤答に対するフィードバックを行っている。

「情報・問題の整理の仕方を学ぶ」

- ・情報の分量が多い項目についての整理の仕方を学習させるべく、重要性に関する順位の

付け方や分類の簡略化の仕方について具体例を示して学生の理解をはかっている。

- ・講義スライドでは、ピクトグラムを用いて記憶が必要な項目と推論を理解することが重要な項目を明確化し、それぞれの背景を説明している。

- ・講義スライド・資料と教科書やインターネット上の出典との対応について明確化し、相互の理解が容易になるよう工夫している。

「基本的な知識を問題解決に応用する技術を修得する」

- ・薬理学・薬物学の課題説明の前に臓器や器官の生理機能を復習し、新たな項目に関する学習効率の担保をはかっている。

- ・講義中に投票機能を利用した演習問題によってクラス全体の理解度を測り、結果をフィードバックするとともにその後の授業の改善に生かしている。

- ・授業ごとに復習に利用できる小テストを毎回作成し、自習のために誤答の選択肢にはフィードバックの解説を設けている。

- ・上記の小テストと演習問題は国家試験の過去問を参考にして作成しており、学生の成績は授業の設計と改善に生かしている。

- ・学生からの授業に関する質問は e-mail で随時受け付けており基本的に同日に返答している。

【成果・評価】

担当科目がオムニバス形式であるため学生から個別の評価は得られていないが、教員による授業参観の評価は以下の通りである。

- ・授業は良く準備されている。

- ・記憶すべき項目と理解すべき項目が分かり易くピクトグラムで表示されており要点が伝わり易い。

- ・低学年の内容も盛り込まれており学生の理解を促進する内容であった。

- ・講義のボリュームが多かった点は改善を要する。

- ・WEB 授業中に音声をミュートとしていない学生によって講義と関連しない音声 flowed ことなど WEB 授業における学生の音声コントロールの問題は改善を要する。

【目標】

- ・薬物治療における多職種連携について現状を整理し授業に盛り込む（6月）。

- ・多職種連携に関するセミナーに参加する

- ・現在所属している医療連携の NPO（北海道医療連携ネットワーク協議会）で大学教育に関する意見・要望を収集する（6月）